

**厚生労働省省内事業仕分け（(社)シルバーサービス振興会）  
仕分け人（6名）の評決結果**

○ **事務・事業（介護サービス情報公表支援事業（補助））**

改革案では不十分    3人	2人	① 事業そのものを廃止
	0人	② 事業の効率性を高めた上で、国で（平成23年度から）直接実施
	1人	③ 事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、自治体へ事業を移管し実施
	0人	④ 事業の効率性を高めた上で、他の民間法人へ補助を行い実施
	0人	⑤ 事業継続するが、更なる見直しが必要（実施方法の見直し・補助金の削減など）
改革案は妥当 3人	/	

＜具体的な意見＞

【① 事業そのものを廃止】

- ・シルバーマークの歴史的使命は終わったと考える。振興会としては外資系企業も参入させるべきではないか。
- ・廃止（発展的解消）すべき。要介護度を下げた利用者・本人にフィードバックできるインセンティブ制度に変えていく必要あり。要介護度を下げた福祉機器・事業者を認証する制度も考えられる。また、現状維持ならば、（シルバーマーク）S-1グランプリ開催するのも一案。

【③ 事業の効率性を高めた上で、補助を廃止し、自治体へ事業を移管し実施】

- ・制度発足後、一定の役割を果たしたと思われるため、今後は各都道府県のセンターに全面的に移行し、システム管理は国が一元的に行うことで、補助を廃止する。

## ○ 組織・運営体制

改革案では不十分 6人	
改革案が妥当 0人	

### <具体的な意見>

#### 【改革案では不十分】

- ・ 一般社団法人化による余剰資産については、広く国民からアイデアを募り有効に活用すべきと思う。また、改革案にもあるが、事務所の移転等について、より安い物件や人員の削減を図っていく必要があると思う。
- ・ 介護環境の変化を踏まえ、役割の見直しと、公益目的資産の活用策について早急に具体的な検討をすべき。
- ・ シルバーマーク事業は歴史的使命を終えたものとする。残る事業も規模が小さく、有効な役割を持たせるのは難しい。つまり、当会は解散すべきである。
- ・ ITコスト減の検討を図る。IT管理経費の見直しの際、ITコンサルへ委託し精査する。
- ・ 「業種横断的」というシルバーサービス振興会のミッションは重要である。介護事業所に留まるより、むしろ住宅、公共交通機関、サービス業等を含む幅広い業種の横断的な連携、コラボレーションを推進するシンクタンクの役割を期待したい。